



2月 りすぐみだより

2025年2月2日発行
社会福祉法人 尚徳福祉会
保育園与那原ベアーズ2

1月中旬ごろからぐんと冷え込みが厳しくなり、大人は「寒い寒い」と小さくなっていましたが、子どもたちは寒さにも負けず元気に保育園生活を楽しんでいます。これから益々寒さが厳しくなる時期です。体調管理に留意しながら、保育者も子どもたちからパワーをもらって一緒に寒さを乗り切りたいと思っています。

保育のねらい

- ☆自分の思いを泣いたり怒ったり笑ったりして保育者や友だちに伝えようとする。
- ☆寒さのピークで室内での遊びが増えるが、子どもの体調や天気に応じて外遊びを入れ、十分に体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- ☆保育者や友だちの仕草を真似て、やりとりを楽しむ。



(1月のりす組さんの様子)

子どもたちの関わりがますます豊かになってきました。最近は、お友だちが困っている様子に気づくと、そっと駆け寄って「大丈夫?」と声をかけ、心配そうに見守る優しい姿が見られます。

言葉も少しずつ増え、お友だち同士で指さしをしながら「あーそーぼ」「おいで」と一生懸命気持ちを伝え合う姿がとても可愛らしいです。

新聞紙遊びでは、子どもたちの興味と笑顔がいっぱい。保育者が新聞紙でしっぽを作つけてみると、自分のしっぽを触つてみたり、お友だちのしっぽを見て「これなーに?」と首をかしげる姿がありました。

さらに、新聞紙で作った洋服を着た子どもたちは、「せんせーい!」と嬉しそうに見せに来てくれ、クラス中が笑顔であふれています。

新聞破りも上手になり、破った新聞紙を集めて寝転がつてみたり、新聞吹雪に見立てて「わあー!」と声を上げながら楽しむ姿からも、日々の成長を感じます。



【おにわーそと！ふくわーうち！】

- 2月3日の節分に向けて、りす組では新聞紙を丸めて豆まきごっこを楽しんでいます。子どもたちは自分たちで作った新聞紙の豆を手に、「おにはそとー、ふくはうち」と元気いっぱいの声を響かせながら、窓に貼つた鬼の絵に向かって一生懸命投げています。
- 鬼の絵を見て「こわい…」とつぶやく子もいますが、それでも勇気を出して豆を投げる姿がとても頼もしく、成長を感じるひとときです。友だちと一緒に笑い合いながら取り組む姿も見られ、節分の行事を通して季節の伝統に親しむ良い機会となっています。
- 当日も、みんなで元気に「おにはそと！ふくはうち！」と楽しみながら過ごせそうです。

【汚れ物用の袋について】

お着替えセットの中に、汚れ物を入れるための袋を1枚ご用意ください。お洗濯物をまとめてお返しする際に使用します。

【お散歩用の靴について】

最近はお外でのお散歩を楽しむ機会が増えてきました。履きやすく、足のサイズに合った靴をお持たせいただければ、子どもたちもより快適に過ごせます。

【上着のご準備について】

寒い日には上着を着て過ごします。汚れてても良い薄手の上着をご準備いただければ助かります。